

幅広い将来の進路に合わせて、8つの履修モデルを設定しています。

日本文学を幅広く学び 教養と高い見識を持つ人に

日本文学 分野



【履修科目例】

- 日本文学概論
- 中国文学概論
- 日本文学史
- 国語学概論
- 古代日本文学
- 近世日本文学
- 漢文学
- 日本語文章表現

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 19世紀初頭の童謡にみる東京語アクセントの反映
- 怪異の描写と享受—説話における鬼を手掛かりに—
- 配列から見る『宇治拾遺物語』の和歌説話

美術史への造詣を深め 豊かな感性を身に付けたい

美術史 分野



【履修科目例】

- 日本美術史(鑑賞を含む)A
- 日本美術史(鑑賞を含む)B
- 西洋美術史(鑑賞を含む)A
- 西洋美術史(鑑賞を含む)B
- 東洋美術史(鑑賞を含む)
- 近代美術史(鑑賞を含む)
- 文化財学
- 東西美術交流

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 浮世絵に見る雨の表現
- 日本刀—刃文の魅力—
- 《ウルビーノのヴィーナス》から見るティツィアーノの思惑

世界の文化の多様性を知り グローバルな視点を持った人材へ

国際教養 分野



【履修科目例】

- 比較文化概論
- 英米文学概論
- 日本外交史
- 国際関係学
- 国際文化交流
- 国際協力論
- 多文化社会と民族問題
- 現代中東アフリカ論

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 多文化共生のあり方と外国人への向き合い方—やさしい日本語の活用で外国人への関心を高める必要性について—
- 東南アジアにおける韓流文化受容
- イスラームのジェンダー観—時代と地域で変容するジェンダー—

西洋史を多角的に考察し 現代社会の理解につなげたい

西洋史 分野



【履修科目例】

- 西洋史概説A
- 西洋史概説B(近代)
- 東洋史概説
- 日本史概説B(近代)
- ヨーロッパの歴史と社会
- 西洋文化史
- アメリカ史
- イスラム史

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- セルビアと日本の交流史
- ヨーロッパの海賊と大航海時代の関わり
- 中世ベストと新型コロナウイルスの感染対策の比較

書や文学作品を創作し 自己を表現したい

創作・表現 分野



【履修科目例】

- 書芸術の鑑賞
- 創作論
- 物語論
- シナリオ論
- 近代日本文学
- 日本語文章表現
- 作家と表現
- 国語史

文化を総合的に学び 多様性への理解を社会で活かしたい

総合文化 分野



【履修科目例】

- 文化人類学
- 民俗学
- 考古学概説
- 比較文化概論
- 女性と文化
- 文化と心理
- 文化と身体
- 伝承文化論

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 現代の映画・ゲーム内に登場する宗教表現
- 文化の中のミイラー—古代エジプト人とトラジャ族の例から—
- 『ハリー・ポッター』シリーズの魅力

遺跡や文献に触れながら 日本史の深層を探りたい

日本史 分野



【履修科目例】

- 日本史概説A
- 日本史概説B(近代)
- 日本外交史
- 東洋史概説
- 日本の歴史と社会
- 日本文化史
- 日本思想史
- 風俗史

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- 雑誌『児童』から見る大正時代の子ども教育
- 明治期の脚気対策—国家・医療構造を通して—
- 文化としての江戸時代の性意識及び売買春の検討

哲学や古典学、民俗学を通して 現代社会を理解したい

現代思想・社会 分野



【履修科目例】

- 哲学概論
- 美学概論
- 文化人類学
- 民俗学
- 中国哲学史
- 西洋哲学史
- 比較神話論
- 現代思想

【卒業論文・卒業研究 テーマ例】

- ヘルマン・ヘッセの思想と活動
- 性同一性障害—多様な性と自己執行
- 中原淳一の美学—昭和少女へのメッセージ

教職課程

Teacher training course

対象学科 > 人文学科

■取得可能な教員免許状

国語(中・高)

書道(高)

■教員免許状の取得のために

学科の卒業要件とは別に教職課程で開講する科目を履修する必要があります。教育の基礎理論や生徒指導など、教師として必要な知識を身に付けるほか教育実習などの学外実習も行います。

教職課程 科目例	■ 教職論 ■ 教育心理学 ■ 教育相談及びカウンセリング ■ 教育原理 ■ 道徳教育指導論 ■ 教育実習	など
実習	[3年次] 介護等体験(7日間)* [4年次] 教育実習(2~4週間)	

※中学校教諭一種免許取得者のみ



Pick up

書芸術の鑑賞

書芸術とは、三千年以上の歴史を持つ漢字が時代の風気と共にそのスタイルを変えながら花開いた芸術です。本講義では、中国・日本の著名な能書家・作品をピックアップし、掛け軸や拓本・図版などを鑑賞します。鑑賞という行為を通して「本物を見極める力」を養い、豊かな情操と創造性を養い、書の表現力の幅が広がることを目指しています。

学芸員課程

Curator training course

対象学科 > 人文学科・現代文化表現学科・マネジメント学科

美術系

歴史・民俗系

■学芸員資格取得のために

卒業に必要な単位を充足しながら、これとは別に学芸員課程開講の諸科目を履修しなければなりません。博物館概論や博物館資料保存論、博物館展示論などの科目から、学芸員業務に必要な基礎知識を修得し、さらに学外実習(博物館実習)で実地の経験を積むことが求められます。

学芸員課程 科目例	[1-2年次] ■ 博物館概論 [3年次] ■ 博物館資料論 ■ 博物館教育論 ■ 博物館展示論 ■ 博物館情報・メディア論 ■ 博物館経営論 [4年次] ■ 博物館実習	など
--------------	---	----



Pick up

博物館実習

博物館実習は、学芸員資格取得のために開設されている「学芸員課程」の科目の一つです。学内、および実習館(博物館、美術館など)の実習で、学芸員に必要とされる知識・技術などを修得します。掛け軸や卷子(かんす)の取り扱い、台帳整理(資料カード作成)、教育活動の実践などを学び、学芸員業務の基本を修得します。